

日本建築学会 比較居住文化小委員会 拡大委員会

フィールドワークの未来形

-岡山県奈義町のグランドデザインを契機として- Monday, 26 March 2018

土木・景観

山田裕貴

T e t o r 代表取締役

建築

稲垣淳哉

E u r e k a 共同主宰

色彩

加藤幸枝

C L I M A T 取締役 色彩計画家

本シンポジウムでは、「建築 隣接域」のご専門で、建築・土木・景観・色彩などの「ものづくり（アウトプット、プロダクト）」へ、地域のフィールドワーク、デザインサーベイを結びつけていらっしゃる方々に、実践のお話と、協同の可能性を語って頂きます。また、岡山県奈義町のグランドデザインで、3者は実際の協同設計を行っています。その後、本小委員会の委員（みなベテランのフィールドワーカーです）も交えて、現地観察とものづくりの架け橋によって何が可能になるか、ディスカッションします。フィールドワークから計画／設計／協同に至るどのような具体的プロセスがあり得るか、現代の新しい社会関係の中で、観察と実践の繰り返しの先にどのような未来があるか、議論を試みます。

2018年3月26日[月]17:00-20:00

会場 建築会館

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

※会議室については当日、1階の掲示にてご案内いたします。

司会：前田昌弘（京都大学/小委員会主査）

記録：稲垣淳哉（早稲田大学芸術学校, Eureka/小委員会委員）

17:00~17:10
17:10~17:40
17:40~18:10
18:10~18:40
18:40~18:50
18:50~19:50
19:50~20:00

趣旨説明：稲垣淳哉（前掲）

主題解説①：「フィールドワークとコラボレーションで地域の形をつくる」稲垣淳哉（前掲）

主題解説②：「環境と色彩」加藤幸枝（CLIMAT）

主題解説③：「フィールドワークと景観デザイン、その先に」山田裕貴（Tetor）

休憩

討論：パネリスト 主題解説演者3名+委員

まとめ：本間 健太郎（東京大学/小委員会委員）



photo:ookura hideki